

令和5年度(2023年度)多文化共生推進事業に関する予算案について

1 市全体の考え方

新型コロナウイルス感染症や原油価格・物価高騰等により、市民生活や地域経済は依然として大きな影響を受けている。また、八王子市の財政見通しは長期的に厳しい状況である。

令和5年度は、本市の最上位計画である基本構想・基本計画「八王子未来デザイン2040」がスタートする年である。新たな基本計画の初年度として、「重点テーマ・取組方針」を着実に推進するため、(仮称)重点計画に掲げる事業を全て計上する。同時に、将来世代に過度な負担を残さず、社会環境の変化に適切に対応した行政サービスを展開する予算とする。

また、デジタル時代に相応しい行財政運営の実現に向け、「デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画」に基づく取組、および、カーボンニュートラルの実現に向け、中長期的視点に立ち、省エネルギーや再生可能エネルギーを活用した脱炭素化の取組を予算化する。

2 多文化共生推進課の予算

令和4年度に引き続き、外国人留学生支援事業など生活に密着した支援を行い、コミュニケーション能力の向上と地域との交流意識を醸成する取り組みを行う。

また、海外友好交流都市との交流は、対面による交流を再開する。

(1) 外国人へのコミュニケーション・生活支援

多言語対応の充実、在住外国人サポートデスクなど

(2) 外国人留学生支援事業

住居賃貸代行保証料補助、日本語能力試験受験料補助など

(3) 啓発事業

生涯学習フェスティバル内で国際交流コーナーの催し(多文化共生の集い)を実施、多文化共生に関する映画上映会の実施 など

(4) 海外友好交流都市との交流

対面による交流の再開、オンラインなど対面によらない交流の継続実施